契約・調達管理会議設置要綱

(目的)

第1条 一般財団法人全日本ろうあ連盟（以下「連盟」という。）、東京都、連盟内デフリンピック運営委員会（以下「運営委員会」という。）及び公益財団法人東京都スポーツ文化事業団（以下「事業団」という。）は2025年デフリンピック大会（以下「本大会」という。）の準備、運営を実施するに当たり、本大会における買入れ、請負その他の契約の手続等の公正性、公平性及び透明性を担保するために、予算執行及び契約調達事務の厳正な確認を行うことを目的とし、四者共同で契約・調達管理会議（以下「本会議」という。）を設置する。

(所管事項)

第2条 本会議は、前条の目的を達成するため、運営委員会及び事業団において本大会の準備、運営のために契約締結を予定する案件のうち、次に掲げる事項が適正に実施されているかについて、精査及び確認を行う。

(1) 一件の予定価格2千万円以上の委託契約及び物品の買入れその他の契約、一件の予定価格4千万円以上の工事請負契約、社会全般に影響を及ぼすおそれのある案件及びその他本会議において精査、確認を必要とする案件に係る手続（予算執行、調達方式及び予定価格の決定、指名競争入札参加者の適格性の判定及び選定等）及び契約締結（調達価格の決定）に関すること。

なお、予定価格の扱いについては関連する事業及び継続性等を考慮し判断することとする。

(2) 特命随意契約（予定価格50万円以上）、総合評価方式又はプロポーザル方式による契約

(3) 公正な調達を妨げるおそれのある場合への対応、その他契約及び調達に関する重要なこと。

(組織)

第3条 本会議は、別紙に掲げる委員（委員長を含む。）で構成する。

2 委員長が特に必要と認めた場合は、臨時委員及びオブザーバーを置くことができる。

3 前項のほか、委員長が必要と認めるときは、委員でない者を本会議に出席させ、その意見等を聴くことができる。

(委員長の職務及び代理)

第4条 委員長は、本会議を代表し、会務を総理する。

2 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(招集)

第5条 本会議は、必要の都度、委員長が招集する。委員長が認めるときは、委員の招集に代えて、書面による合議を行うことができる。

2 本会議は、オンラインによる実施を妨げないものとする。

(公開等)

第6条 本会議の会議は、原則、非公開とするが、後日、本会議の会議資料等を公開する。
ただし、関係者等の秘密情報が含まれる資料の公開については、当該関係者等の事前同意を得るものとする。

(守秘義務)

第7条 委員は、当該職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(事務局)

第8条 本会議の事務局事務は、四者が共同で行うものとし、事務局は東京都生活文化スポーツ局に置く。

2 本会議の精査、確認に要する資料は、契約調達を行う運営委員会又は事業団に帰属する。

(本会議の運営に要する経費の負担)

第9条 本会議の運営に要する経費のうち、本会議の開催会場の設営等開催に要する経費については、東京都が負担する。

2 本会議の運営に要する経費のうち、連盟、東京都、運営委員会及び事業団所属の各委員に係る本会議の開催会場までの交通費その他の旅費については、その所属先が負担する。

(謝金の支払)

第10条 本会議は、外部委員に対し謝金を支払うことができるものとする。

2 外部委員への謝金の支払に関することは、東京都が行う。

(補足)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、令和5年4月20日から施行する。

契約・調達管理会議

委員名簿

委員長	学識経験者（公認会計士）
委員	学識経験者（弁護士）
委員	一般財団法人全日本ろうあ連盟
委員	一般財団法人全日本ろうあ連盟内デフリンピック運営委員会
委員	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部シニアマネージャー
委員	東京都生活文化スポーツ局事業調整担当部長
委員	東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第二課長